

「市長とどこでもトーク」
～市長と一緒に地域の課題を考えよう～

桑名の地域医療



平成26年11月29日(土)

保健福祉部理事 加藤 洋士

1

桑名の地域医療

1. 医療を取り巻く環境
2. 医療及び介護の方向性
3. 医師・看護師数
4. 桑名市の地域医療体制の現状
5. 桑名市の医療供給体制
6. 桑名市医療圏域の重点課題
7. 今後の桑名市の地域医療のあり方

2

1. 医療を取り巻く環境

- 少子高齢化社会が急速に進む中で、医療はますます厳しい状況下にある。
- 保険料収入が伸び悩む一方で、高齢化の影響により医療給付費が増加したことから、医療保険財政は悪化し、診療報酬の見直しや医療提供体制の見直しをはじめとする医療制度の抜本的改革が進められている。
- 医師不足から安定的な制度の維持のためには、医療及び介護の機能再編が進められている。
- 医療及び介護の機能再編については、平成24年2月の閣議決定により、「社会保障・税一体改革大綱」が定められた。

3

3

2. 医療及び介護の方向性

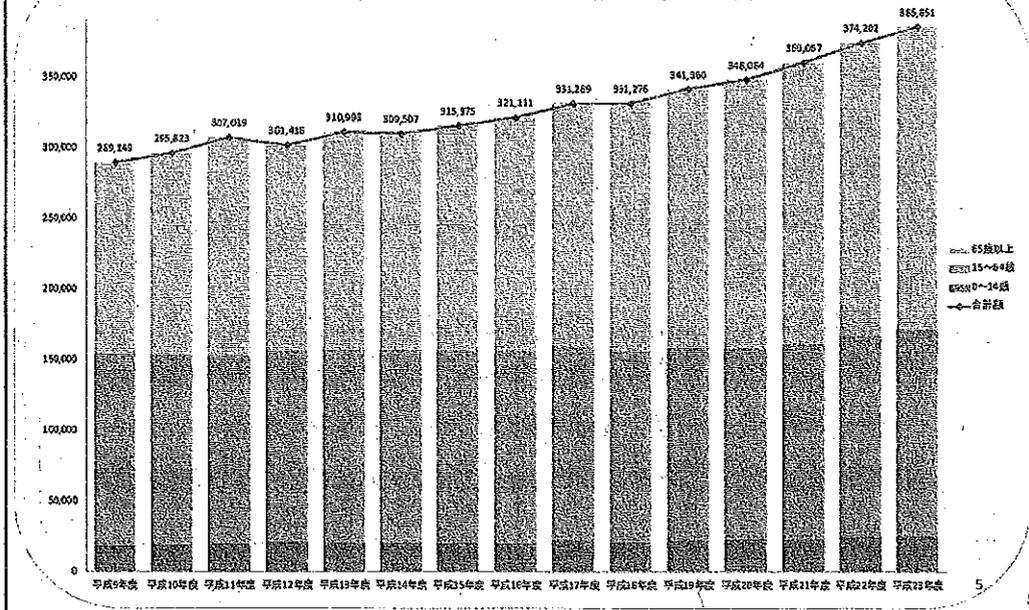
- 「病院完結型」から地域全体で治し、支える「地域完結型」へ。
- 受け皿となる地域の病床や在宅・介護を充実、川上から川下までのネットワーク化。
- 地域ごとに、医療、介護、予防に加え、本人の意向と生活実態に合わせて切れ目なく継続的に生活支援サービスや住まいも提供されるネットワーク(地域包括ケアシステム)の構築。
- 市民の健康増進、疾病の予防及び早期発見等を積極的に促進する必要。

4

4

【参考資料】

国民医療費および年齢階級別構成割合の推移



3. 医師・看護師数

人口10万人対施設従事医師数

(単位:人)

	総数	内科	外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	麻酔科
全国	219	48.3	13	5.2	12.4	8	6
三重県	190.1	50.3	10.8	4.7	10.8	7.5	3.5
北勢保健医療圏	160.6	40.7	10.8	4.2	8.3	6.8	2.9
桑名地域	139.1	34.8	13.7	4.1	7.8	6	2.7

出典:厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」(平成22年)

人口10万人対就業看護師・准看護師数

(単位:人)

	平成18年末現在	平成20年末現在	平成22年末現在
全国	934.6	980.7	※1,030.9
三重県	894.6	949	1,009.80
北勢保健医療圏	815.1	860.3	911.9
桑名市	881.1	881.9	938.8

出典:厚生労働省「衛生行政報告例」、三重県「市町累年統計」(平成18年、20年、22年)
注※平成22年度全国の数値には岩手県、宮城県、福島県の一部が含まれておりません。

4 桑名市の地域医療体制の現状

○ 桑名市の医療需要の推計

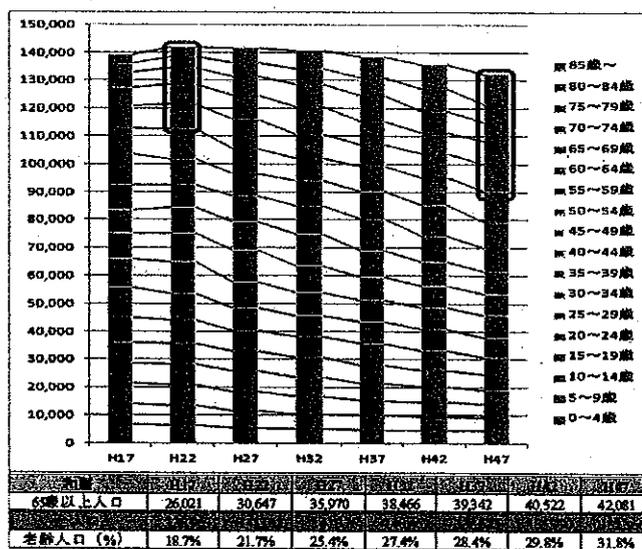
- ① 桑名市の将来推定人口は、平成29年をピークに減少していくと予測される。
- ② 桑名市の人口は、平成47年では平成22年の人口の約94%まで減少する。
- ③ 65歳以上の人口は増加傾向にあり、平成22年の30,647人から平成47年には、42,081人と約37%増加する。
- ④ 0～14歳の人口は、減少傾向にあり、平成22年の20,463人から平成47年には、14,118人と約31%減少する。

7

7

【参考資料1】

桑名市の年齢別将来人口の推移



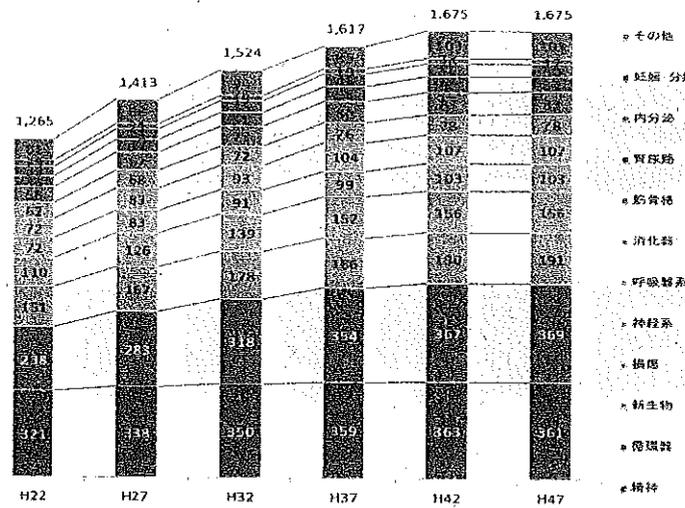
出典：国立社会保障・人口問題研究所 日本の市町村別将来推計人口(平成20年12月推計)

8

8

【参考資料2】

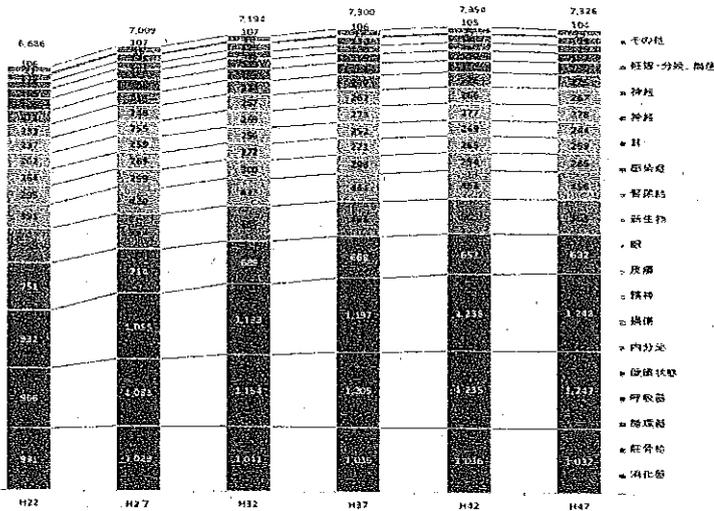
桑名市の推定入院患者数将来推移



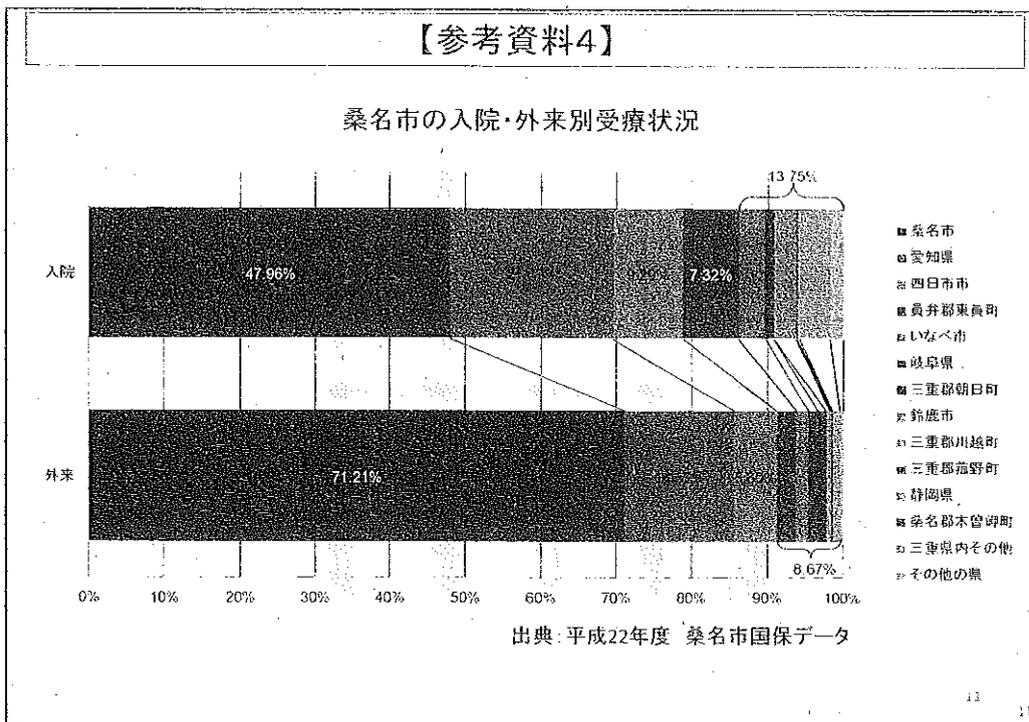
出典：桑名市平成22年9月人口(桑名市データ)、国立社会保障・人口問題研究所
日本の市町村別将来推計人口(平成20年12月推計)、平成20年患者統計:患者受療率(厚生労働省) 9

【参考資料3】

桑名市の推定外来患者数将来推移



出典：桑名市平成22年9月人口(桑名市データ)、国立社会保障・人口問題研究所
日本の市町村別将来推計人口(平成20年12月推計)、平成20年患者統計:患者受療率(厚生労働省) 10



5. 桑名市の医療供給体制

- (1) 三重県保健医療計画において、桑名市は、北勢保健医療圏に属する。
- (2) 桑名市、いなべ市、木曾岬町、および東員町を「桑員地域」とし、全体では16の中小病院がある。

6. 桑名市医療圏域の重点課題(1)

重点課題

- (1) がん対策について
- ① がん診療の状況は、治療医、放射線機器など放射線治療を行える体制整備が進んでいない。
 - ② がんの部位や治療方法によっては、市外の医療機関での治療を受けている方が少なくない。
- (2) 脳卒中対策について
- ① 発症後3時間以内のゴールデンタイムに専門的かつ適切な治療を開始できる。
 - ② 桑名西医療センターにはSCUを3床整備し、脳神経外科医3名の配置による24時間365日体制を敷いている。

13

13

6. 桑名市医療圏域の重点課題(2)

- (3) 急性心筋梗塞対策について
- ① 桑名東医療センター7人、桑名西医療センター2人及び桑名南医療センター2人の常勤の循環器内科医師及び桑名東医療センター1人、桑名南医療センター2人の常勤の心臓血管外科医師が主に対応している。
- (4) 救急医療対策について
- ① 病院群輪番制病院は、地域での患者の受け入れ態勢に大きな成果を挙げている。
 - ② 一方では、病院群輪番制病院は、平成16年4月、平成22年1月にそれぞれ1病院ずつ減少し、あわせて医師の高齢化などがもあり、二次救急体制が脆弱化してきている。

14

14

6. 桑名市医療圏域の重点課題(3)

(5) 周産期医療対策について

- ① 平成22年の地域内の分娩は、1病院と3診療所で実施されていたが、平成22年12月末に1診療所が閉院となっている。
- ② 新病院整備事業において、小児医療とも関連するNICU3床を装備する運用を計画。
- ③ 平成24年7月から3年間、桑名地域の周産期医療の確保対策として、鈴鹿医療科学大学に寄附講座を設置し、産婦人科医師を確保している。
- ④ 平成26年2月、三重大学医学部附属病院、三重中央医療センター、桑名市総合医療センター、県及び市において、新病院の開設に際しての小児・周産期医療の充実に向けた医師の確保等について、文書で合意。
- ⑤ 平成26年4月、桑名市総合医療センターにおいて、桑名東医療センターに東海地方で初めてとなる「周産期内科」を開設。

15

15

6. 桑名市医療圏域の重点課題(4)

(6) 小児救急を含む小児医療対策について

- ① 地域の小児科医師数が極めて少なく、平成23年には小児医療の崩壊寸前になった。
- ② しかし、総合医療センターの小児科医師2人を中心に、地域の診療所医師の応援により、小児医療の維持が可能となった。
- ③ 現在は、小児救急の患者の受入れは、診療所医師からの紹介。また、入院患者の受入れは、月～木曜日を対象に行っている。

16

16

7. 今後の桑名市の地域医療のあり方(1)

(1) 桑名市総合医療センター新病院整備

- ① 地域中核病院として急性期医療および高度医療への対応を可能とするとともに、災害拠点病院も見据えた施設および設備を備える。
- ② 桑名地域の医療需要や新病院が担うべき医療機能を踏まえ、一般病床400床程度とする。

(2) 地域包括ケアシステムの構築

- ① 在宅医療の充実のためには、個々の役割や医療機能を満たす各医療機関、さらにそれら関係機関相互の連携により、在宅医療が円滑に提供される体制を構築することが重要である。
- ② 多職種協働による在宅医療の支援体制を構築し、地域における包括的かつ継続的な在宅医療の提供体制を整備する。

17

7. 今後の桑名市の地域医療のあり方(2)

(3) 地域の医療・介護・福祉との連携

- ① 在宅医療を含めた地域特性に合わせた柔軟な医療提供体制を構築する。
- ② 医療においては、在宅医療の推進、医療介護の連携を推進する。
- ③ これらに対応するためには、「かかりつけ医」の普及と新たな病院機能が必要となる。

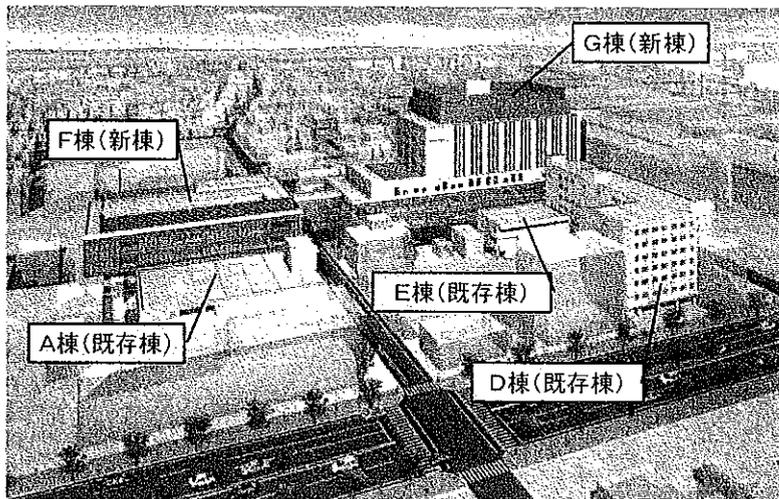
18

18

【参考資料1】

地方独立行政法人と医療法人とを統合した新病院の整備

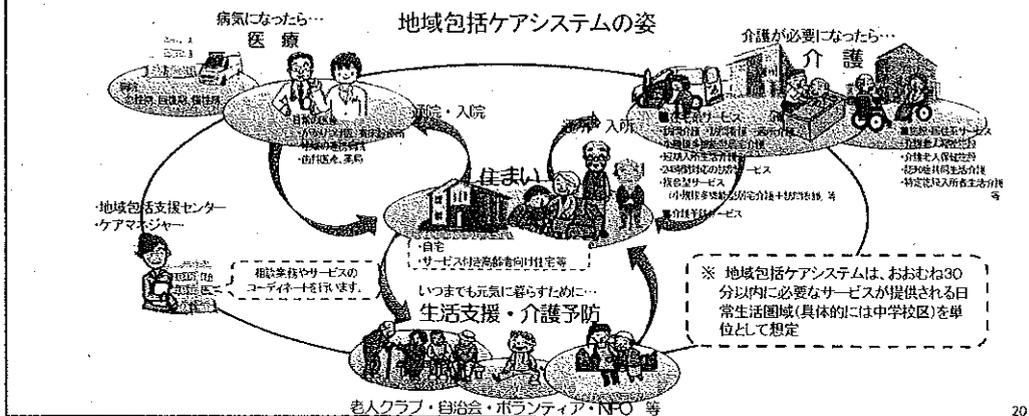
新病院の実施設計のイメージ



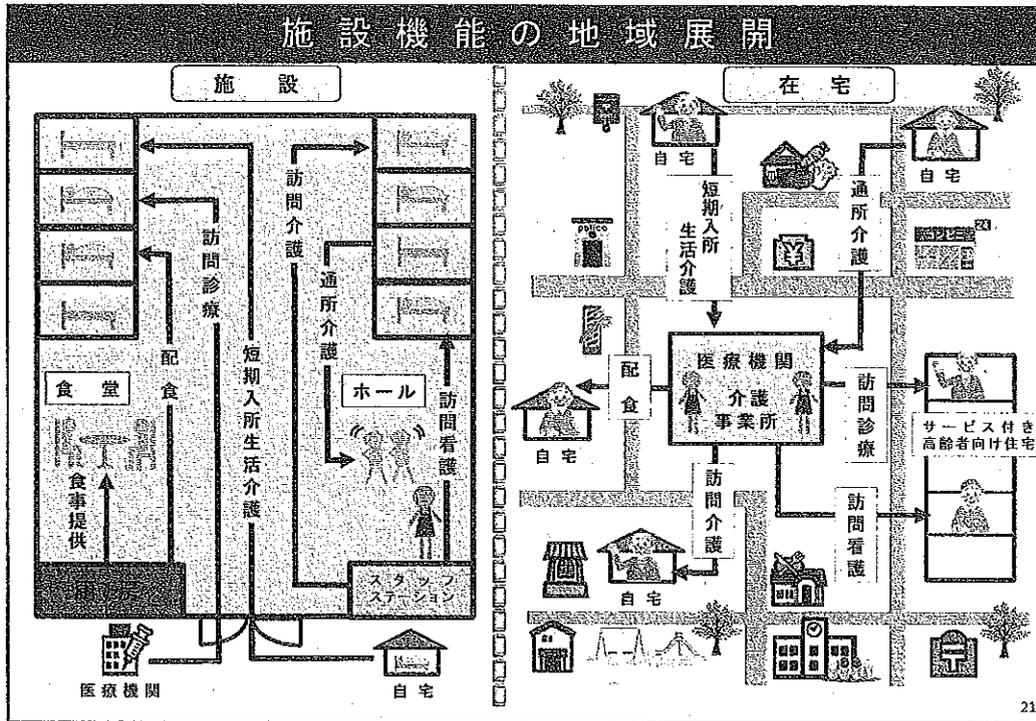
19

【参考資料2】

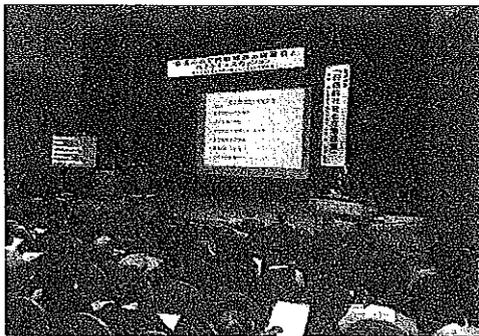
- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、高齢化の進展状況には大きな地域差。
- 地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要。



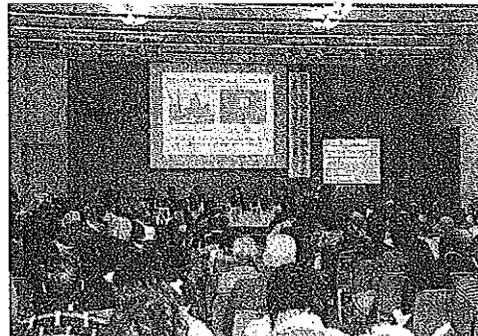
20



御静聴ありがとうございました。



平成26年2月9日
「桑名の在宅医療推進の
講演会とパネルディスカッション」



平成26年2月22日
市民公開講座
「住み慣れた地域で暮らし続けて人生の最期を迎えるために
～桑名市における『地域包括ケアシステム』の構築に向けて～」

